資　料　２－１

道路事業　再評価
一般国道４５号　釜石山田道路

平成２２年　７月　７日
国土交通省　東北地方整備局

前回再評価後３年経過

事業名	一般国道45号　釜石山田道路	事業種別	高規格

事業の目的

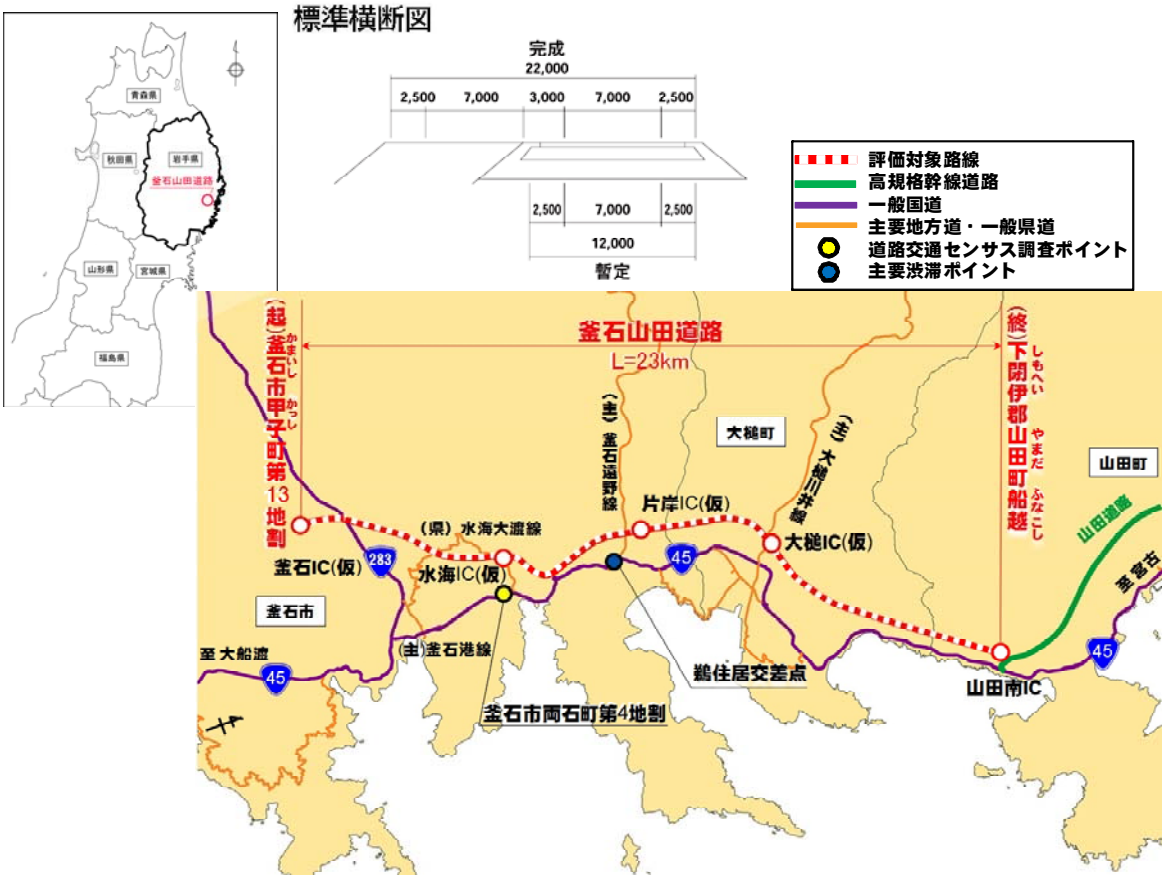
三陸縦貫自動車道は、仙台市を起点として三陸沿岸地域を経て岩手県宮古市に至る延長約２２０ｋｍの高規格幹線道路である。

釜石山田道路（自動車専用道路）は、三陸縦貫自動車道の一部として、都市間所要時間の短縮を図り、広域的な交流・連携を促進する高規格幹線道路ネットワークを形成するとともに、釜石市の交通混雑の緩和、災害時の緊急輸送道路の確保等に寄与することを目的としている。

事業の概要

起終点	自：岩手県釜石市甲子町第13地割 至：岩手県下閉伊郡山田町船越		延　長 供用済	２３．０km －
道路規格	第１種３級、設計速度 80km/h		幅　員	W=22.0m
事業化	平成５年度	都市計画決定	平成８年度	
用地着手	平成13年度	工事着手	平成16年度	

	全体事業費・進捗率			H17再評価時全体事業費（うち用地費）
	全体事業費（うち用地費）	執行済み額（うち用地費）	全体進捗率（用地費）	
完成	910億円（60億円）	190億円（27億円）	21%(45%)	910億円(60億円)
暫定	590億円（60億円）	190億円（27億円）	32%(45%)	590億円(60億円)



事業の概要

整備状況・供用区間状況

釜石山田道路整備状況(L=23.0km)
（恋の峠から宮古方面を望む）



釜石山田道路整備状況(L=23.0km)
（国道45号から仙台方面を望む）



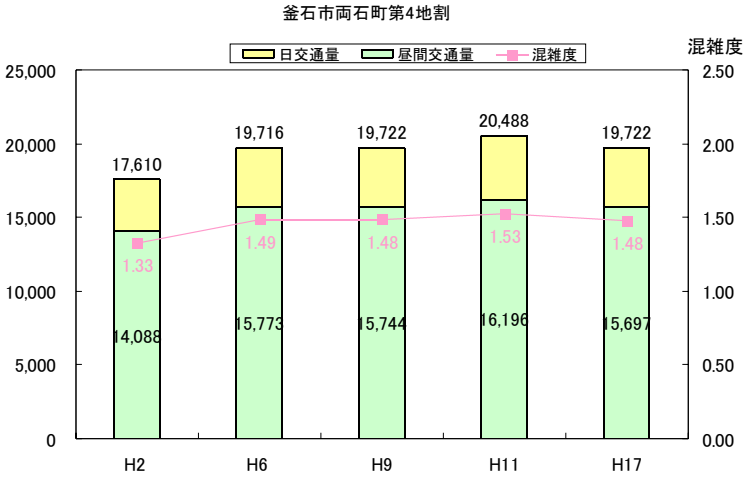
現道45号の道路混雑状況



▲鵜住居（うのすまい）交差点の渋滞状況



▲恋の峠の渋滞状況



▲交通量と混雑度の経年変化

資料：各年道路交通センサス

注）各年度の混雑度（12時間）は、H17道路交通センサスの交通容量を用いて算出

▼両石（りょういし）地区～鵜住居（うのすまい）地区間の最大渋滞長と通過時間

両石方面から鵜住居方面	
最大渋滞長(m)	3,500
最大通過時間(分)	22

資料：交通実態調査
平成18年7月21日（金）
朝7：00～9：00

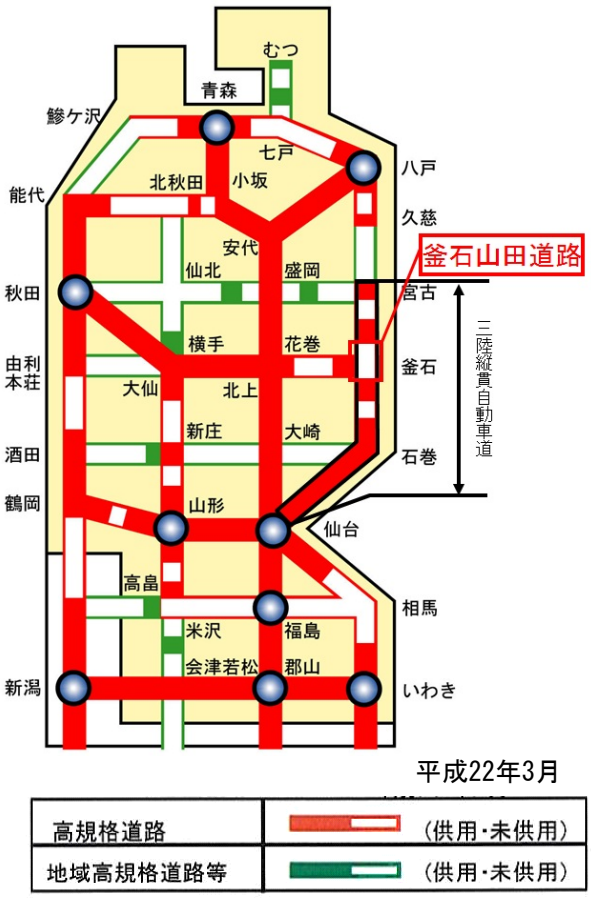
事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（１／６）

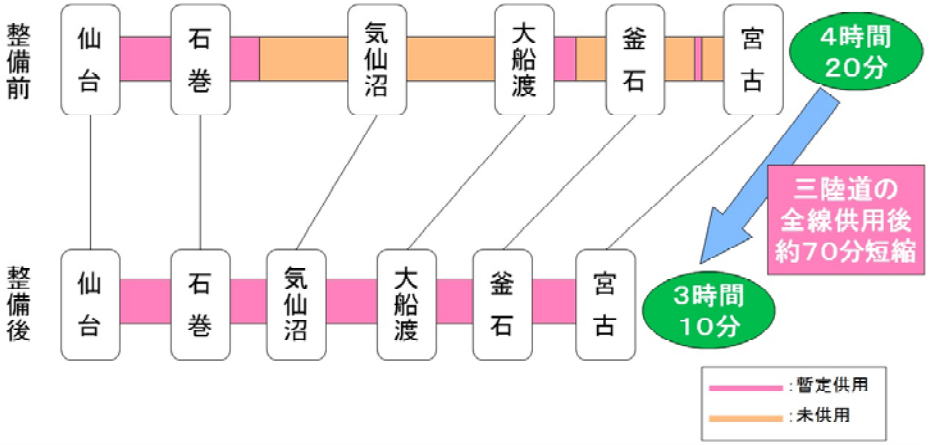
１．高規格幹線道路ネットワークの構築

・釜石山田道路は、三陸縦貫自動車道の一部として、高規格幹線道路ネットワークを形成し、都市間所要時間の短縮を図るとともに、三陸沿岸地域の交流・連携の促進に寄与するものである。

▼格子状骨格幹線道路ネットワーク



▼仙台市～宮古市間の所要時間の変化



資料　整備前：道路時刻表（’07～’08）
整備後：時速70kmで試算

事業の必要性等に関する視点

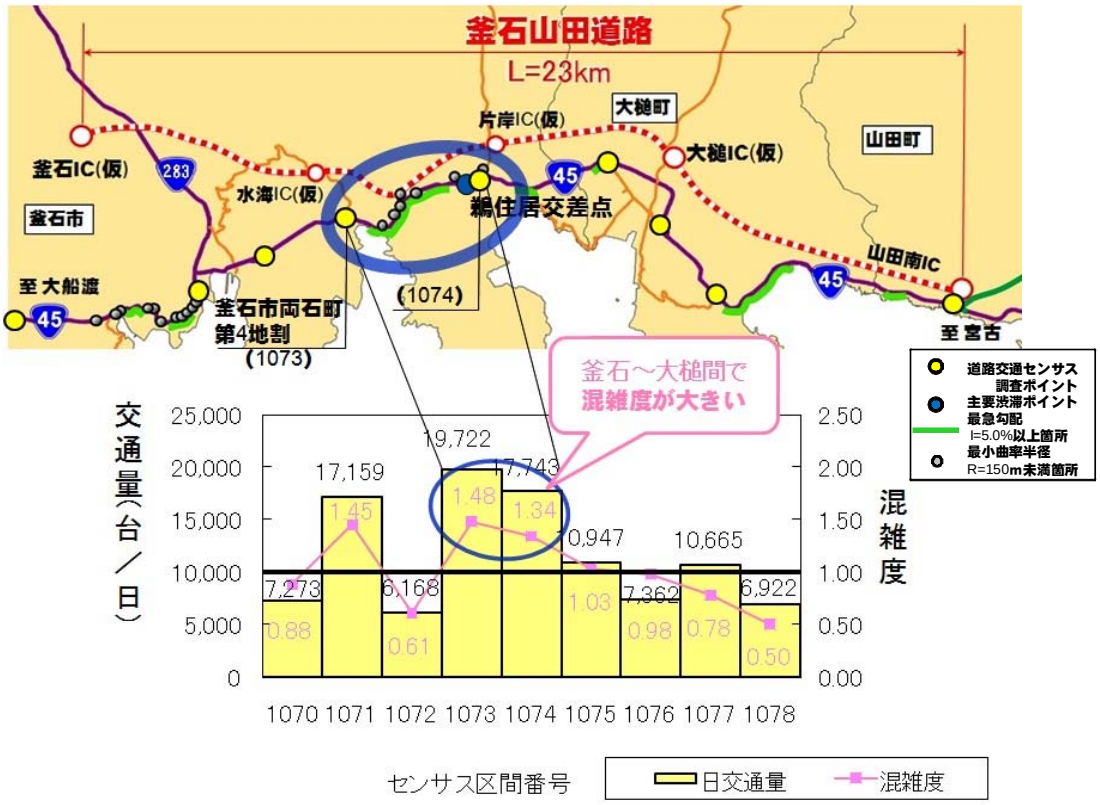
事業を巡る社会経済情勢等の変化（２／６）

２．渋滞の緩和

・釜石山田道路と並行する国道45号は、当該区間で唯一の南北を結ぶ幹線道路であり、朝夕ピーク時には交通が集中し、渋滞が発生している。

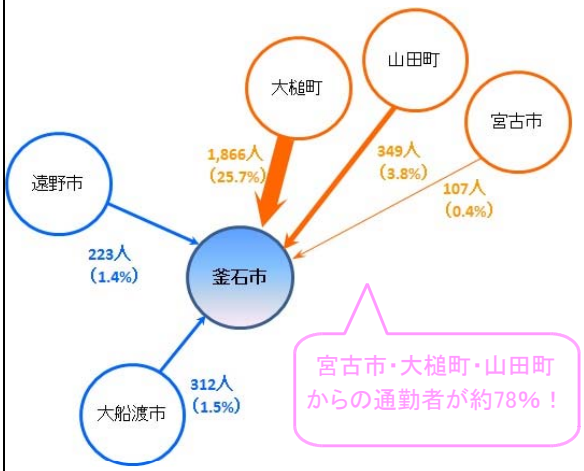
・釜石市へは、宮古市・大槌町・山田町から約2,300人が通勤しており、これは釜石市への市外通勤者の約78%となっている。

・釜石山田道路の整備によって、国道45号の通過交通が転換することで国道45号の交通が減少し、渋滞緩和が見込まれる。



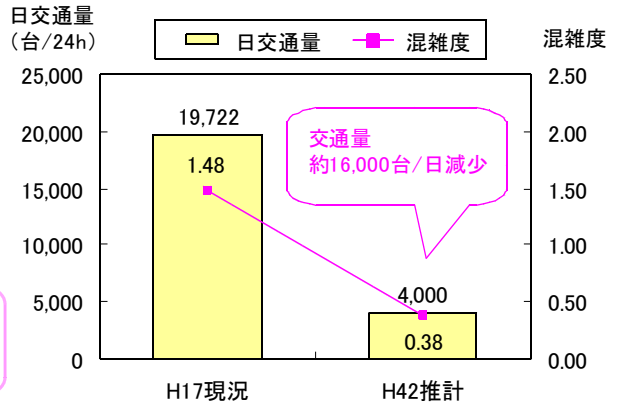
▲釜石山田道路並行現道の交通量及び混雑度

資料：H17道路交通センサス



▲釜石市への
全通勤者の居住市町村割合

資料：H17国勢調査



▲釜石市両石町（りょういし）第４地割の
交通量と混雑度の推移

資料：H17道路交通センサス，H42交通量推計結果

事業の必要性等に関する視点

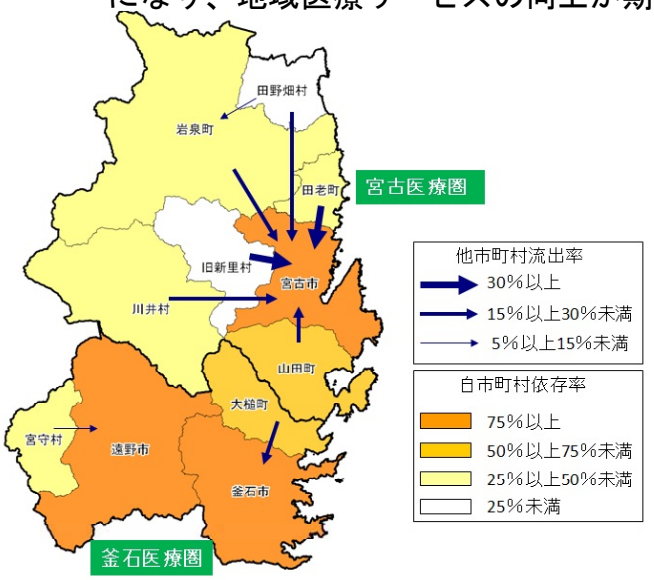
事業を巡る社会経済情勢等の変化（３／６）

３．地域医療サービスの向上

・宮古・釜石医療圏では、それぞれ岩手県立宮古病院ならびに岩手県立釜石病院が地域の中心的な役割を担っており、周辺自治体からの通院者も多い。

・しかしながら両病院には相互に設置されていない診療科目があるため、病状によっては医療圏をこえた救急搬送や通院が必要となっている。

・釜石山田道路の整備により、1分1秒争う救急搬送において時間短縮が可能になり、地域医療サービスの向上が期待できる。



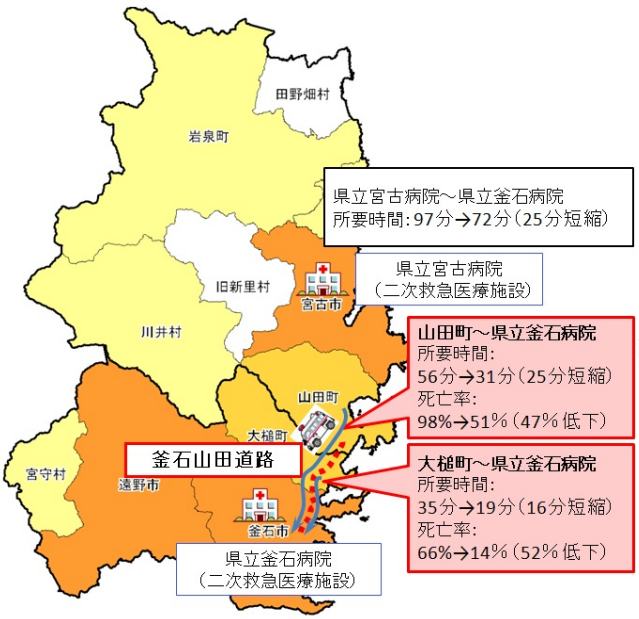
▲宮古・釜石医療圏の自市町村依存率と他市町村流出率

資料：岩手県平成16年患者受療動向調査

診療科目	県立釜石病院	県立宮古病院
内科	○	○
小児科	○	○
呼吸器内科	○	○
消化器内科	○	○
神経内科	○	○
循環器科	○	×
外科	○	○
整形外科	○	×
心臓血管外科	○	×
脳神経外科	○	×
脳外科	×	○
形成外科	○	○
泌尿器科	○	○
産婦人科	○	○
放射線科	×	○
麻酔科	×	○
眼科	○	×
耳鼻咽喉科	○	×
薬剤科	○	×
リハビリテーション科	○	×
計	17	12

▲岩手県立釜石病院と岩手県立宮古病院の診療科目

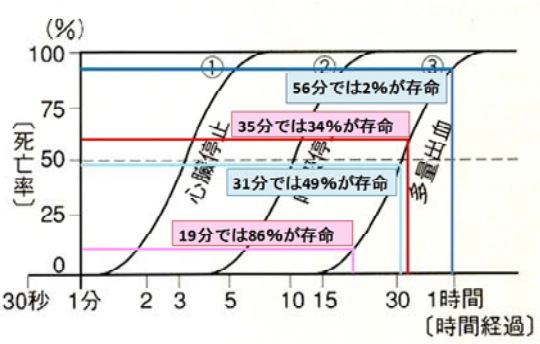
資料：各病院HP（H22.6現在）



▲釜石山田道路の全線開通による所要時間短縮

資料：H17道路交通センサス（釜石山田道路・山田道路は70km/ｈで計算）

※所要時間は各町役場から県立釜石病院までとした。死亡率は多量出血によるもの。



▲カーラーの救命曲線

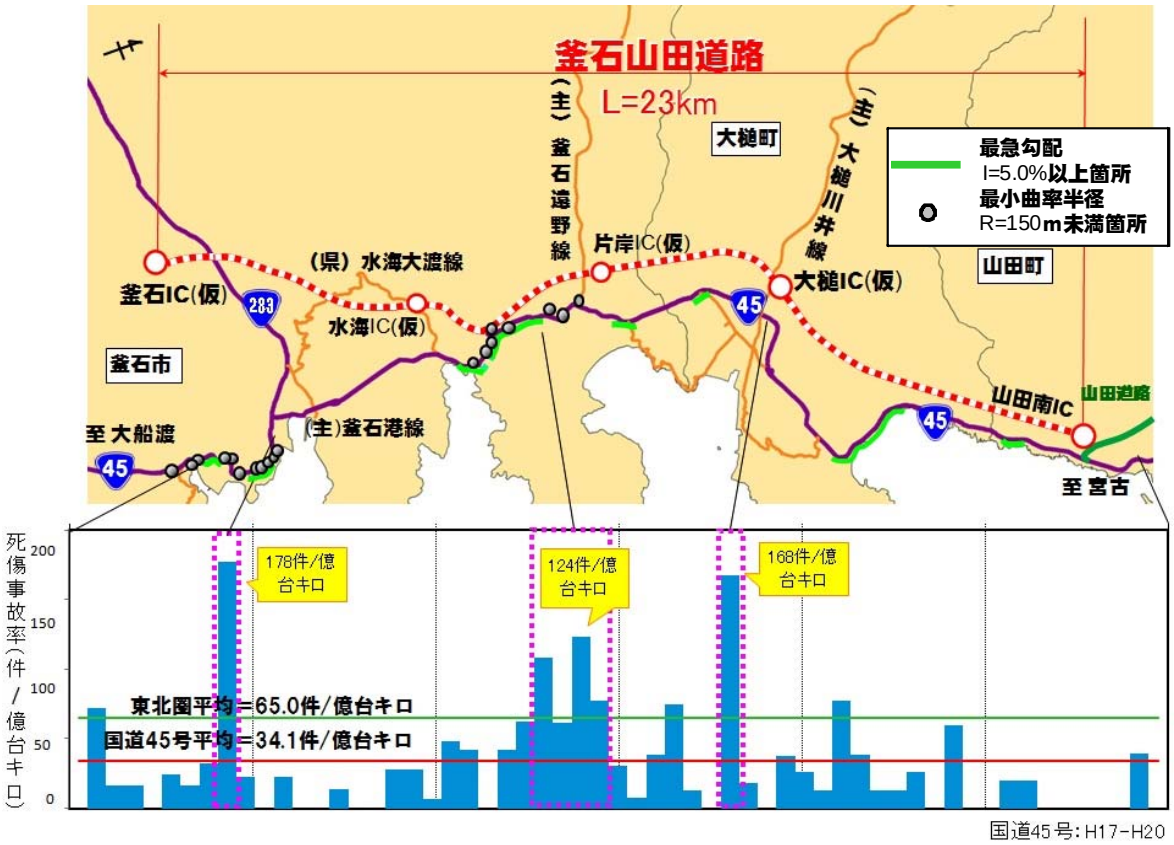
事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（４／６）

４．安全性の向上

・釜石山田道路平行現道では、線形不良や急勾配などにより死亡事故を含む死傷事故が多発している。また釜石山田道路並行現道では、死傷事故率が最大で177.7件/億台キロとなる区間があり、岩手県内の国道45号における死傷事故率34.1件/億台キロの約5.2倍の死傷事故率となっている。

・岩手県内における自専道での死傷事故率は、6.6件/億台キロであり、釜石山田道路並行現道に比べ約80%低く、釜石山田道路でも同様の効果が期待され、安全性が確保される。



▲釜石山田道路並行現道の死傷事故率



▲恋の峠での大型貨物横転事故(H10.6発生)

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（５／６）

５．緊急輸送道路の信頼性確保

・一般国道45号は、三陸地方で唯一の南北軸であるにも関わらず、過去に数度の地震津波による被害を受けており、今後も大地震及び地震津波の発生が予測されている。釜石山田道路並行区間においては、9箇所約6kmで津波による浸水が予測されている。

・釜石山田道路平行現道区間は、近隣に迂回路として機能する道路がなく、第二次緊急輸送道路を迂回した場合、所要時間の大幅な増加(1～2時間)を強いられる。

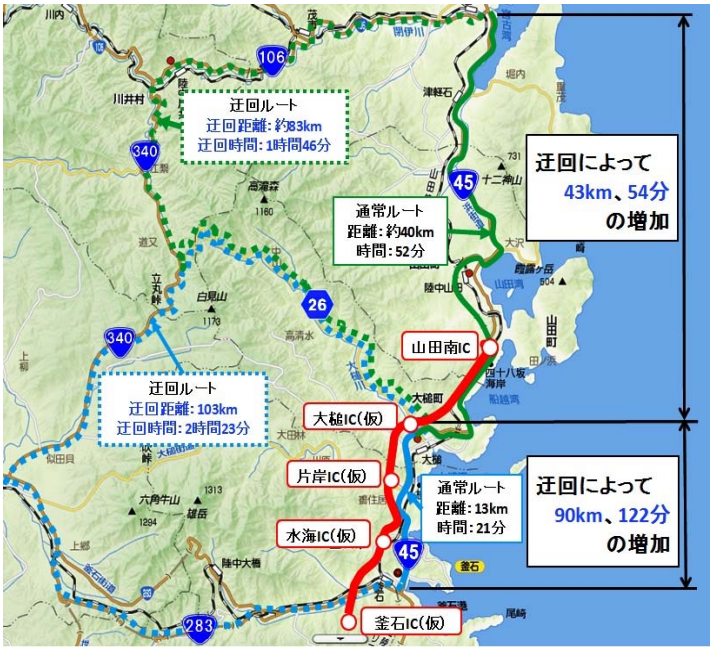
・Ｈ22.2に発生した「チリ中部沿岸で発生した地震」では、国道45号の交通規制により大幅な交通の乱れが発生した。

・釜石山田道路は、災害時・非常時に緊急輸送道路としての機能を発揮する。



▲津波発生時の浸水地域図　　は災害浸水想定箇所

資料：岩手県津波浸水予想図



▲交通規制時の迂回ルートと所要時間

資料：Ｈ17道路交通センサス

※迂回路は第二次緊急輸送道路網以上で設定

新聞記事未掲載

事業の必要性等に関する視点	事業を巡る社会経済情勢等の変化（６／６） 〇環境影響評価の対応 ・評価対象区間については、環境影響評価実施要綱等に基づき、平成８年の都市計画決定手続きと併せ環境影響評価を実施している。 ・予測評価の結果、大気質、騒音、動物、植物等いずれも環境保全目標を満足している。 ・事業実施にあたり、環境影響が生じる場合においては、専門家等の助言を踏まえ、適切な対応を図る。 〇事業採択時より再評価実施までの周辺環境等の変化 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の必要性等に関する視点〔費用対効果分析〕

費用便益比（Ｂ／Ｃ）

○費用便益比（Ｂ／Ｃ）

※下表の数値は、基準年（平成22年）における現在価値換算した金額を記載。

計画交通量（平成42年度）釜石山田道路＝10,200台/日　現道＝2,100台/日

【全　線】

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋20%	－20%
費 用 Ｃ（ 現 在 価 値 ）	***773***	***773***	***773***	***839***	***709***	***766***	***819***
事　業　費(億円)	735	735	735	801	671	736	771
維持管理費(億円)	38	38	38	38	38	30	48
便 益 Ｂ（ 現 在 価 値 ）	***960***	***1090***	***825***	***960***	***960***	***725***	***1266***
走行時間短縮便益(億円)	723	808	635	723	723	546	953
走行経費短縮便益(億円)	168	210	126	168	168	127	221
交通事故減少便益(億円)	69	72	64	69	69	52	92
費用便益比 Ｂ／Ｃ	***1.2***	***1.4***	***1.1***	***1.1***	***1.4***	***0.9***	***1.5***

【残事業】

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋20%	－20%
費 用 Ｃ（ 現 在 価 値 ）	***541***	***541***	***541***	***590***	***491***	***537***	***554***
事　業　費(億円)	503	503	503	552	453	503	512
維持管理費(億円)	38	38	38	38	38	34	43
便 益 Ｂ（ 現 在 価 値 ）	***960***	***1090***	***825***	***960***	***960***	***835***	***1103***
走行時間短縮便益(億円)	723	808	635	723	723	629	830
走行経費短縮便益(億円)	168	210	126	168	168	146	193
交通事故減少便益(億円)	69	72	64	69	69	60	79
費用便益比 Ｂ／Ｃ	***1.8***	***2.0***	***1.5***	***1.6***	***2.0***	***1.6***	***2.0***

○純現在価値（NPV）　【全線】１８６億円　【残事業】４１９億円

○経済的内部収益率（EIRR）　【全線】４．８％　【残事業】６．２％

（参考）

○費用便益比（Ｂ／Ｃ）

【前回再評価時のＢ／Ｃ】【残事業】　－　【全体】１．５

【今回再評価時のＢ／Ｃ】【残事業】１．８【全体】１．２

（前回再評価時の計画交通量）

・釜石山田道路＝１０，９００台/日

・現　　道＝　２，７００台/日

（今回再評価時の計画交通量）

・釜石山田道路＝１０，２００台/日

・現　　道＝　２，１００台/日

事業の進捗の見込みの視点	事業の進捗状況について	・事業進捗に係る問題はない。
	供用予定等今後の事業の見通し	・水海ＩＣ(仮)～片岸ＩＣ(仮)の延長４．６ｋｍについて整備を促進し、平成２２年度の暫定２車線供用を目標に、事業進捗を図る。  資料：三陸国道事務所
コスト縮減等の視点	コスト縮減のメニュー	・新技術の活用として、下部工の配筋構造を「標準配筋」から「インターロッキング式配筋」へ変更。 ・多段切土を、切土法面保護工（受圧板＋グランドアンカー工）に見直し、切土段数を縮減。

地方公共団体等の意見	岩手県知事の意見 　一層のコスト縮減に努めながら、整備のスピードを緩めることなく、着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。 他に、以下の団体等から、釜石山田道路の早期完成について要望あり。 〇三陸地方都市建設協議会（気仙沼市長、他６市町村長） 〇宮古市議会 〇釜石市議会 〇三陸地区国道協議会（久慈市長、他９市町村長） 〇三陸沿岸都市会議（八戸市長　他６市長） 〇岩手県三陸縦貫自動車道整備促進期成同盟会（宮古市長） 〇国道４５号岩手整備促進期成同盟会（宮古市長、他１２市町村長） 〇岩手県 〇宮古市 〇釜石市（釜石市長、市議会副議長　他４名） 〇大船渡市 〇陸前高田市 〇大槌町 〇山田町 〇かまいし女性団体連絡会（全１７団体） 〇東北横断自動車道及び三陸縦貫自動車道整備促進釜石市民会議 （釜石商工会議所会頭） 〇釜石市鵜栗地区道路整備促進期成同盟会 〇釜石港湾振興協議会（釜石市長） 〇仙人峠道路建設促進及び三陸縦貫自動車道（大船渡～山田間）整備促進釜石市民会議 〇大船渡・釜石・大槌・山田間三陸縦貫自動車道整備促進協議会 （釜石市長、他３市長、町長）
対応方針	原案　事業継続 （理由） 　高規格幹線道路ネットワークを形成するとともに、釜石市の国道４５号の渋滞緩和、災害時の緊急輸送路の確保等、早期整備の必要性が高い。 　また、地元自治体等からの事業促進の要望活動も強く行われている。

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道４５号	釜石山田道路	L=23.0km	高規格B	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
10,200	4	東北地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成22年度		
単純合計	871億円	142億円	1,013億円
うち残事業分	667億円	142億円	808億円
基準年における現在価値（C）	735億円	38億円	773億円
うち残事業分	503億円	38億円	541億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成22年度			
供 用 年	平成34年度			
単年便益（初年便益）	60億円	14億円	5.8億円	80億円
基準年における現在価値（B）	723億円	168億円	69億円	960億円
うち残事業分	723億円	168億円	69億円	960億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	186億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.8%
費用便益比（残事業）	1.8
経済的純現在価値（残事業）	419億円
経済的内部収益率（残事業）	6.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	10,200	±10%	1.5～2.0
事業費	667億円	±10%	1.6～2.0
事業期間	12年	±20%	1.6～2.0

様式－３①

交通状況の変化

事業名：一般国道４５号　釜石山田道路（全体、残事業）

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路［バイパス等］：23.0km		交通量	[台/日]	0	10,200
		走行時間	[分]	0	18
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	38.29
②主な周辺道路	現道(国道４５号)：23.43km	交通量	[台/日]	9,300	2,100
		走行時間	[分]	42	30
		走行時間費用	[億円/年]	77.40	11.88
	国道３４０号：5.23km	交通量	[台/日]	600	200
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	0.94	0.26
	国道１０６号：6.16km	交通量	[台/日]	6,200	5,800
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	7.35	6.81
	国道３９６号：5.81km	交通量	[台/日]	1,200	1,000
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	1.99	1.52
③その他道路合計：2967.18km		走行時間費用	[億円/年]	4,783.12	4,754.34

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益
合計：3030.81km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,870.80	4,813.10	57.70

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※１： 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

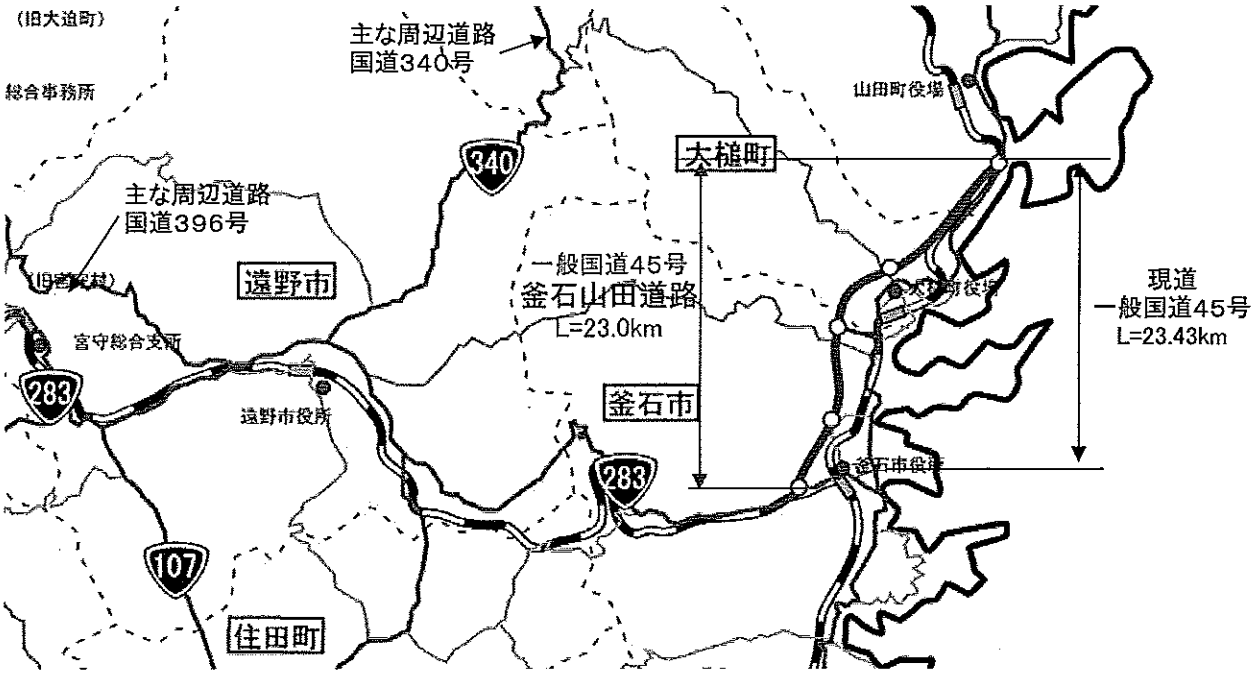
※２： 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

事業名：一般国道４５号　釜石山田道路

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：釜石山田道路

（2）

項目			チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）	■
		その他	□
分析の基本的事項		分析対象期間	50年間
		社会的割引率	4%
		基準年次	平成22年
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	■（平成42年）
		複数時点での推計	□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	■
		整備の有無のいずれかのみ推計	□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合：いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表（三段階推定法）	■（H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表（四段階推定法）	□
		その他（　　）	□
	開発交通量の考慮	無	■
		有	□
		有の場合のみ：考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ/日
		有の場合のみ：考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分	□
		転換率式を用いた配分	□
		Q－V式と転換率式の併用による配分	■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）	□
		簡易手法	□
		簡易手法の採択理由：小規模事業である	□
		簡易手法の採択理由：山間部海岸部で併行道路が少ない	□
		簡易手法の採択理由：その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）	
		その他（　　）	□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	■
		採用理由を記載：交通量が、交通容量（Qmax～Qmin）以上の路線、交通容量（Qmin～Qmax）の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
		最終配分の速度	□
		採用理由を記載	
		その他（　　）	□

事業名：釜石山田道路

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	（　　）%
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	（　　）日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	□
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	（　　）日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他 （　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		■
		中央分離帯の有無を考慮しない		□
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
	その他			

事業名：釜石山田道路

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他（　　）	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 東北地方整備局管内直轄路線の1km当たり平均価値（実績値）を使用	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	■
	その他		

4．その他

様式－4

費用の現在価値算定表

箇所名：釜石山田道路（全体）

維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.129	23	2.97

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
−30年目	H 5	1.9479	103.7000	1.94	3.33		
−29年目	H 6	1.8730	103.6000	1.94	3.20		
−28年目	H 7	1.8009	103.0000	1.94	3.10		
−27年目	H 8	1.7317	102.4000	1.94	3.00		
−26年目	H 9	1.6651	103.4000	1.90	2.79		
−25年目	H 10	1.6010	102.8000	1.90	2.70		
−24年目	H 11	1.5395	101.3000	1.90	2.64		
−23年目	H 12	1.4802	99.7000	1.90	2.58		
−22年目	H 13	1.4233	98.4000	1.93	2.55		
−21年目	H 14	1.3686	96.6000	1.93	2.50		
−20年目	H 15	1.3159	95.4000	10.53	13.26		
−19年目	H 16	1.2653	94.4000	8.38	10.26		
−18年目	H 17	1.2167	93.2000	7.87	9.38		
−17年目	H 18	1.1699	92.5000	25.41	29.34		
−16年目	H 19	1.1249	91.7000	38.43	43.04		
−15年目	H 20	1.0816	91.3000	36.69	39.68		
−14年目	H 21	1.0400	91.3000	35.91	37.35		
−13年目	H 22	1.0000	91.3000	22.13	22.13		
−12年目	H 23	0.9615	91.3000	12.58	12.10		
−11年目	H 24	0.9246	91.3000	47.57	43.98		
−10年目	H 25	0.8890	91.3000	42.55	37.83		
−9年目	H 26	0.8548	91.3000	54.90	46.93		
−8年目	H 27	0.8219	91.3000	58.27	47.89		
−7年目	H 28	0.7903	91.3000	68.60	54.21		
−6年目	H 29	0.7599	91.3000	72.84	55.35		
−5年目	H 30	0.7307	91.3000	61.89	45.22		
−4年目	H 31	0.7026	91.3000	61.89	43.48		
−3年目	H 32	0.6756	91.3000	61.89	41.81		
−2年目	H 33	0.6496	91.3000	61.89	40.20		
−1年目	H 34	0.6246	91.3000	61.89	38.66		
供用年次	H 35	0.6006	91.3000			2.83	1.70
1年目	H 36	0.5775	91.3000			2.83	1.63
2年目	H 37	0.5553	91.3000			2.83	1.57
3年目	H 38	0.5339	91.3000			2.83	1.51
4年目	H 39	0.5134	91.3000			2.83	1.45
5年目	H 40	0.4936	91.3000			2.83	1.40
6年目	H 41	0.4746	91.3000			2.83	1.34
7年目	H 42	0.4564	91.3000			2.83	1.29
8年目	H 43	0.4388	91.3000			2.83	1.24
9年目	H 44	0.4220	91.3000			2.83	1.19
10年目	H 45	0.4057	91.3000			2.83	1.15
11年目	H 46	0.3901	91.3000			2.83	1.10
12年目	H 47	0.3751	91.3000			2.83	1.06
13年目	H 48	0.3607	91.3000			2.83	1.02
14年目	H 49	0.3468	91.3000			2.83	0.98
15年目	H 50	0.3335	91.3000			2.83	0.94
16年目	H 51	0.3207	91.3000			2.83	0.91
17年目	H 52	0.3083	91.3000			2.83	0.87
18年目	H 53	0.2965	91.3000			2.83	0.84
19年目	H 54	0.2851	91.3000			2.83	0.81
20年目	H 55	0.2741	91.3000			2.83	0.78
21年目	H 56	0.2636	91.3000			2.83	0.75
22年目	H 57	0.2534	91.3000			2.83	0.72
23年目	H 58	0.2437	91.3000			2.83	0.69
24年目	H 59	0.2343	91.3000			2.83	0.66
25年目	H 60	0.2253	91.3000			2.83	0.64
26年目	H 61	0.2166	91.3000			2.83	0.61
27年目	H 62	0.2083	91.3000			2.83	0.59
28年目	H 63	0.2003	91.3000			2.83	0.57
29年目	H 64	0.1926	91.3000			2.83	0.55
30年目	H 65	0.1852	91.3000			2.83	0.52
31年目	H 66	0.1780	91.3000			2.83	0.50
32年目	H 67	0.1712	91.3000			2.83	0.48
33年目	H 68	0.1646	91.3000			2.83	0.47
34年目	H 69	0.1583	91.3000			2.83	0.45
35年目	H 70	0.1522	91.3000			2.83	0.43
36年目	H 71	0.1463	91.3000			2.83	0.41
37年目	H 72	0.1407	91.3000			2.83	0.40
38年目	H 73	0.1353	91.3000			2.83	0.38
39年目	H 74	0.1301	91.3000			2.83	0.37
40年目	H 75	0.1251	91.3000			2.83	0.35
41年目	H 76	0.1203	91.3000			2.83	0.34
42年目	H 77	0.1157	91.3000			2.83	0.33
43年目	H 78	0.1112	91.3000			2.83	0.31
44年目	H 79	0.1069	91.3000			2.83	0.30
45年目	H 80	0.1028	91.3000			2.83	0.29
46年目	H 81	0.0989	91.3000			2.83	0.28
47年目	H 82	0.0951	91.3000			2.83	0.27
48年目	H 83	0.0914	91.3000			2.83	0.26
49年目	H 84	0.0879	91.3000	−58.00	−5.10	2.83	0.25
合 計				813.33	735.39	141.50	37.95

単純事業費計	871.33	141.50

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－4

費用の現在価値算定表

箇所名：釜石山田道路（残事業）

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.129	23	2.97

年次	年度		割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
					単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-30年目	H	5	1.9479	103.7000				
-29年目	H	6	1.8730	103.6000				
-28年目	H	7	1.8009	103.0000				
-27年目	H	8	1.7317	102.4000				
-26年目	H	9	1.6651	103.4000				
-25年目	H	10	1.6010	102.8000				
-24年目	H	11	1.5395	101.3000				
-23年目	H	12	1.4802	99.7000				
-22年目	H	13	1.4233	98.4000				
-21年目	H	14	1.3686	96.6000				
-20年目	H	15	1.3159	95.4000				
-19年目	H	16	1.2653	94.4000				
-18年目	H	17	1.2167	93.2000				
-17年目	H	18	1.1699	92.5000				
-16年目	H	19	1.1249	91.7000				
-15年目	H	20	1.0816	91.3000				
-14年目	H	21	1.0400	91.3000				
-13年目	H	22	1.0000	91.3000				
-12年目	H	23	0.9615	91.3000	12.58	12.10		
-11年目	H	24	0.9246	91.3000	47.57	43.98		
-10年目	H	25	0.8890	91.3000	42.55	37.83		
-9年目	H	26	0.8548	91.3000	54.90	46.93		
-8年目	H	27	0.8219	91.3000	58.27	47.89		
-7年目	H	28	0.7903	91.3000	68.60	54.21		
-6年目	H	29	0.7599	91.3000	72.84	55.35		
-5年目	H	30	0.7307	91.3000	61.89	45.22		
-4年目	H	31	0.7026	91.3000	61.89	43.48		
-3年目	H	32	0.6756	91.3000	61.89	41.81		
-2年目	H	33	0.6496	91.3000	61.89	40.20		
-1年目	H	34	0.6246	91.3000	61.89	38.66		
供用年次	H	35	0.6006	91.3000			2.83	1.70
1年目	H	36	0.5775	91.3000			2.83	1.63
2年目	H	37	0.5553	91.3000			2.83	1.57
3年目	H	38	0.5339	91.3000			2.83	1.51
4年目	H	39	0.5134	91.3000			2.83	1.45
5年目	H	40	0.4936	91.3000			2.83	1.40
6年目	H	41	0.4746	91.3000			2.83	1.34
7年目	H	42	0.4564	91.3000			2.83	1.29
8年目	H	43	0.4388	91.3000			2.83	1.24
9年目	H	44	0.4220	91.3000			2.83	1.19
10年目	H	45	0.4057	91.3000			2.83	1.15
11年目	H	46	0.3901	91.3000			2.83	1.10
12年目	H	47	0.3751	91.3000			2.83	1.06
13年目	H	48	0.3607	91.3000			2.83	1.02
14年目	H	49	0.3468	91.3000			2.83	0.98
15年目	H	50	0.3335	91.3000			2.83	0.94
16年目	H	51	0.3207	91.3000			2.83	0.91
17年目	H	52	0.3083	91.3000			2.83	0.87
18年目	H	53	0.2965	91.3000			2.83	0.84
19年目	H	54	0.2851	91.3000			2.83	0.81
20年目	H	55	0.2741	91.3000			2.83	0.78
21年目	H	56	0.2636	91.3000			2.83	0.75
22年目	H	57	0.2534	91.3000			2.83	0.72
23年目	H	58	0.2437	91.3000			2.83	0.69
24年目	H	59	0.2343	91.3000			2.83	0.66
25年目	H	60	0.2253	91.3000			2.83	0.64
26年目	H	61	0.2166	91.3000			2.83	0.61
27年目	H	62	0.2083	91.3000			2.83	0.59
28年目	H	63	0.2003	91.3000			2.83	0.57
29年目	H	64	0.1926	91.3000			2.83	0.55
30年目	H	65	0.1852	91.3000			2.83	0.52
31年目	H	66	0.1780	91.3000			2.83	0.50
32年目	H	67	0.1712	91.3000			2.83	0.48
33年目	H	68	0.1646	91.3000			2.83	0.47
34年目	H	69	0.1583	91.3000			2.83	0.45
35年目	H	70	0.1522	91.3000			2.83	0.43
36年目	H	71	0.1463	91.3000			2.83	0.41
37年目	H	72	0.1407	91.3000			2.83	0.40
38年目	H	73	0.1353	91.3000			2.83	0.38
39年目	H	74	0.1301	91.3000			2.83	0.37
40年目	H	75	0.1251	91.3000			2.83	0.35
41年目	H	76	0.1203	91.3000			2.83	0.34
42年目	H	77	0.1157	91.3000			2.83	0.33
43年目	H	78	0.1112	91.3000			2.83	0.31
44年目	H	79	0.1069	91.3000			2.83	0.30
45年目	H	80	0.1028	91.3000			2.83	0.29
46年目	H	81	0.0989	91.3000			2.83	0.28
47年目	H	82	0.0951	91.3000			2.83	0.27
48年目	H	83	0.0914	91.3000			2.83	0.26
49年目	H	84	0.0879	91.3000	-58.00	-5.10	2.83	0.25
合　計					608.76	502.56	141.50	37.95

単純事業費計	666.76	141.50

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：釜石山田道路(全体,残事業)

年次	年度(基準年)	総走行台キロの年次別伸び率(北東北ブロック)			割戻率	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 35	0.99344	0.99445	0.99375	0.6006	91.3000	33.14	11.42	15.73	60.29	36.21	8.11	2.21	3.66	13.98	8.40	5.84	3.51	80.11	48.11
1年目	H 36	0.99339	0.99441	0.99371	0.5775	91.3000	32.92	11.36	15.64	59.92	34.60	8.06	2.20	3.64	13.90	8.03	5.80	3.35	79.62	45.98
2年目	H 37	0.99335	0.99438	0.99367	0.5553	91.3000	32.70	11.30	15.55	59.55	33.07	8.01	2.19	3.62	13.82	7.67	5.76	3.20	79.13	43.94
3年目	H 38	0.99330	0.99435	0.99363	0.5339	91.3000	32.48	11.24	15.46	59.18	31.60	7.96	2.18	3.60	13.74	7.34	5.72	3.05	78.64	41.99
4年目	H 39	0.99326	0.99432	0.99359	0.5134	91.3000	32.26	11.18	15.37	58.81	30.19	7.91	2.17	3.58	13.66	7.01	5.68	2.92	78.15	40.12
5年目	H 40	0.99321	0.99429	0.99355	0.4936	91.3000	32.04	11.12	15.28	58.44	28.85	7.86	2.16	3.56	13.58	6.70	5.64	2.78	77.66	38.33
6年目	H 41	0.99317	0.99425	0.99351	0.4746	91.3000	31.82	11.06	15.19	58.07	27.56	7.81	2.15	3.54	13.50	6.41	5.60	2.66	77.17	36.62
7年目	H 42	0.99312	0.99422	0.99347	0.4564	91.3000	31.60	11.00	15.10	57.70	26.33	7.76	2.14	3.52	13.42	6.12	5.56	2.54	76.68	35.00
8年目	H 43	0.98924	0.99793	0.99198	0.4388	91.3000	31.26	10.98	15.07	57.31	25.15	7.68	2.14	3.51	13.33	5.85	5.52	2.42	76.16	33.42
9年目	H 44	0.98912	0.99793	0.99192	0.4220	91.3000	30.92	10.96	15.04	56.92	24.02	7.60	2.14	3.50	13.24	5.59	5.48	2.31	75.64	31.92
10年目	H 45	0.98900	0.99793	0.99185	0.4057	91.3000	30.58	10.94	15.01	56.53	22.93	7.52	2.14	3.49	13.15	5.33	5.44	2.21	75.12	30.48
11年目	H 46	0.98888	0.99792	0.99178	0.3901	91.3000	30.24	10.92	14.98	56.14	21.90	7.44	2.14	3.48	13.06	5.09	5.40	2.11	74.60	29.10
12年目	H 47	0.98875	0.99792	0.99172	0.3751	91.3000	29.90	10.90	14.95	55.75	20.91	7.36	2.14	3.47	12.97	4.87	5.36	2.01	74.08	27.79
13年目	H 48	0.98863	0.99791	0.99165	0.3607	91.3000	29.56	10.88	14.92	55.36	19.97	7.28	2.14	3.46	12.88	4.65	5.32	1.92	73.56	26.53
14年目	H 49	0.98849	0.99791	0.99158	0.3468	91.3000	29.22	10.86	14.89	54.97	19.06	7.20	2.14	3.45	12.79	4.44	5.28	1.83	73.04	25.33
15年目	H 50	0.98836	0.99790	0.99150	0.3335	91.3000	28.88	10.84	14.86	54.58	18.20	7.12	2.14	3.44	12.70	4.24	5.24	1.75	72.52	24.19
16年目	H 51	0.98822	0.99790	0.99143	0.3207	91.3000	28.54	10.82	14.83	54.19	17.38	7.04	2.14	3.43	12.61	4.04	5.20	1.67	72.00	23.09
17年目	H 52	0.98808	0.99790	0.99136	0.3083	91.3000	28.20	10.80	14.80	53.80	16.59	6.96	2.14	3.42	12.52	3.86	5.16	1.59	71.48	22.04
18年目	H 53	0.98794	0.99789	0.99128	0.2965	91.3000	27.86	10.78	14.77	53.41	15.84	6.88	2.14	3.41	12.43	3.69	5.12	1.52	70.96	21.04
19年目	H 54	0.98779	0.99789	0.99120	0.2851	91.3000	27.52	10.76	14.74	53.02	15.12	6.80	2.14	3.40	12.34	3.52	5.07	1.45	70.43	20.08
20年目	H 55	0.98764	0.99788	0.99113	0.2741	91.3000	27.18	10.74	14.71	52.63	14.43	6.72	2.14	3.39	12.25	3.36	5.03	1.38	69.91	19.16
21年目	H 56	0.98749	0.99788	0.99105	0.2636	91.3000	26.84	10.72	14.68	52.24	13.77	6.64	2.14	3.38	12.16	3.21	4.98	1.31	69.38	18.29
22年目	H 57	0.98733	0.99787	0.99097	0.2534	91.3000	26.50	10.70	14.65	51.85	13.14	6.56	2.14	3.37	12.07	3.06	4.94	1.25	68.86	17.45
23年目	H 58	0.98717	0.99787	0.99088	0.2437	91.3000	26.16	10.68	14.62	51.46	12.54	6.48	2.14	3.36	11.98	2.92	4.89	1.19	68.33	16.65
24年目	H 59	0.98700	0.99786	0.99080	0.2343	91.3000	25.82	10.66	14.59	51.07	11.97	6.40	2.14	3.35	11.89	2.79	4.85	1.14	67.81	15.89
25年目	H 60	0.98683	0.99786	0.99072	0.2253	91.3000	25.48	10.64	14.56	50.68	11.42	6.32	2.14	3.34	11.80	2.66	4.80	1.08	67.28	15.16
26年目	H 61	0.98665	0.99785	0.99063	0.2166	91.3000	25.14	10.62	14.53	50.29	10.89	6.24	2.14	3.33	11.71	2.54	4.76	1.03	66.76	14.46
27年目	H 62	0.98647	0.99785	0.99054	0.2083	91.3000	24.80	10.60	14.50	49.90	10.39	6.16	2.14	3.32	11.62	2.42	4.71	0.98	66.23	13.80
28年目	H 63	0.98629	0.99784	0.99045	0.2003	91.3000	24.46	10.58	14.47	49.51	9.92	6.08	2.14	3.31	11.53	2.31	4.67	0.94	65.71	13.16
29年目	H 64	0.98610	0.99784	0.99036	0.1926	91.3000	24.12	10.56	14.44	49.12	9.46	6.00	2.14	3.30	11.44	2.20	4.62	0.89	65.18	12.55
30年目	H 65	0.98590	0.99784	0.99026	0.1852	91.3000	23.78	10.54	14.41	48.73	9.02	5.92	2.14	3.29	11.35	2.10	4.58	0.85	64.66	11.98
31年目	H 66	0.98570	0.99783	0.99017	0.1780	91.3000	23.44	10.52	14.38	48.34	8.60	5.84	2.14	3.28	11.26	2.00	4.53	0.81	64.13	11.42
32年目	H 67	0.98549	0.99783	0.99007	0.1712	91.3000	23.10	10.50	14.35	47.95	8.21	5.76	2.14	3.27	11.17	1.91	4.49	0.77	63.61	10.89
33年目	H 68	0.98528	0.99782	0.98997	0.1646	91.3000	22.76	10.48	14.32	47.56	7.83	5.68	2.14	3.26	11.08	1.82	4.44	0.73	63.08	10.38
34年目	H 69	0.98506	0.99782	0.98987	0.1583	91.3000	22.42	10.46	14.29	47.17	7.47	5.60	2.14	3.25	10.99	1.74	4.40	0.70	62.56	9.90
35年目	H 70	0.98483	0.99781	0.98977	0.1522	91.3000	22.08	10.44	14.26	46.78	7.12	5.52	2.14	3.24	10.90	1.66	4.35	0.66	62.03	9.44
36年目	H 71	0.98460	0.99781	0.98966	0.1463	91.3000	21.74	10.42	14.23	46.39	6.79	5.43	2.14	3.23	10.80	1.58	4.31	0.63	61.50	9.00
37年目	H 72	0.98436	0.99780	0.98955	0.1407	91.3000	21.40	10.40	14.20	46.00	6.47	5.35	2.14	3.22	10.71	1.51	4.26	0.60	60.97	8.58
38年目	H 73	0.98411	0.99780	0.98944	0.1353	91.3000	21.06	10.38	14.17	45.61	6.17	5.26	2.14	3.21	10.61	1.44	4.22	0.57	60.44	8.18
39年目	H 74	0.98385	0.99779	0.98934	0.1301	91.3000	20.72	10.36	14.14	45.22	5.88	5.18	2.14	3.20	10.52	1.37	4.18	0.54	59.92	7.80
40年目	H 75	0.98358	0.99779	0.98921	0.1251	91.3000	20.38	10.34	14.11	44.83	5.61	5.09	2.14	3.19	10.42	1.30	4.13	0.52	59.38	7.43
41年目	H 76	0.98331	0.99778	0.98909	0.1203	91.3000	20.04	10.32	14.08	44.44	5.35	5.01	2.14	3.18	10.33	1.24	4.08	0.49	58.85	7.08
42年目	H 77	0.98303	0.99778	0.98897	0.1157	91.3000	19.70	10.30	14.05	44.05	5.10	4.92	2.14	3.17	10.23	1.18	4.03	0.47	58.31	6.75
43年目	H 78	0.98273	0.99777	0.98886	0.1112	91.3000	19.36	10.28	14.02	43.66	4.85	4.84	2.14	3.16	10.14	1.13	3.99	0.44	57.79	6.43
44年目	H 79	0.98243	0.99777	0.98872	0.1069	91.3000	19.02	10.26	13.99	43.27	4.63	4.75	2.14	3.15	10.04	1.07	3.94	0.42	57.25	6.12
45年目	H 80	0.98213	0.99776	0.98860	0.1028	91.3000	18.68	10.24	13.96	42.88	4.41	4.67	2.14	3.14	9.95	1.02	3.90	0.40	56.73	5.83
46年目	H 81	0.98179	0.99776	0.98846	0.0989	91.3000	18.34	10.22	13.93	42.49	4.20	4.58	2.14	3.13	9.85	0.97	3.85	0.38	56.19	5.56
47年目	H 82	0.98145	0.99775	0.98833	0.0951	91.3000	18.00	10.20	13.90	42.10	4.00	4.50	2.14	3.12	9.76	0.93	3.81	0.36	55.67	5.29
48年目	H 83	0.98110	0.99775	0.98821	0.0914	91.3000	17.66	10.18	13.87	41.71	3.81	4.41	2.14	3.11	9.66	0.88	3.77	0.34	55.14	5.04
49年目	H 84	0.98074	0.99774	0.98805	0.0879	91.3000	17.32	10.16	13.84	41.32	3.63	4.33	2.14	3.10	9.57	0.84	3.72	0.33	54.61	4.80
合計							1,279.14	533.62	730.43	2,543.19	722.56	316.60	107.28	167.53	591.41	168.00	240.42	68.98	3,375.02	959.55

一般国道45号 釜石山田道路

【客観的評価指標　５４項目中１５項目に該当】

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）
1．活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上
		■ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
		□ 中心市街地内で行う事業である
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる
	国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り
		□ 地域高規格道路の位置づけあり
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格道路で連絡するルートを構成する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
		□ 現道等における交通不能区間を解消する
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される
		□ 特別立法に基づく事業である

資　料　２－２

道路事業　再評価
一般国道４５号　釜石山田道路

平成２２年　７月　７日
国土交通省　東北地方整備局

一般国道45号 釜石山田道路

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である
2．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
3．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす
4．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	生活環境の改善・保全	○ 現道等における自動車からのNO2排出削減率
		○ 現道等における自動車からのSPM排出削減率
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される
5．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	● 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている
		□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される

東北地方整備局
企画第 46 号
平成22年6月24日

道 建 第 1 8 号
平成 22 年 6 月 22 日

東北地方整備局長　様

岩手県知事　達増　拓也

東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成２２年６月１４日付け国東整企画第３７号で依頼のありました、このことについて、下記のとおり意見を提出します。

記

事業名	意　見
一般国道 45 号 宮古道路事業	本県沿岸部の縦断軸を構成する三陸縦貫自動車道は、沿岸地域の物流の促進、水産や観光などの産業振興や、津波などの自然災害から県民の生命・財産を守るため、極めて重要な路線である。 本路線の一部を構成する宮古道路は、これらに加え、宮古市内の交通混雑の緩和も目的として整備が進められており、平成 22 年 3 月 21 日供用されたところである。 本道路から国道 106 号のアクセス向上を図ることを目的として、引き続き進められている区間について、コスト縮減に努めつつ、着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。
一般国道 45 号 釜石山田道路事業	本県沿岸部の縦断軸を構成する三陸縦貫自動車道は、沿岸地域の物流の促進、水産や観光などの産業振興や、津波などの自然災害から県民の生命・財産を守るため、極めて重要な路線である。 本路線の一部を構成する釜石山田道路においては、交通渋滞の緩和や恋の峠付近の隘路解消を図るため、釜石市水海～片岸間の平成 22 年度内の暫定供用を目指し整備が進められている。 この先行整備区間の早期完成とともに、引き続き釜石市水海以南及び片岸以北についても、一層のコスト縮減に努めながら、整備のスピードを緩めることなく、着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。

担当
県土整備部道路建設課
[redacted]
tel　019-629-5868
mail [redacted]